



編集会議 議事録 兼 報告書			
会議名	8月号(仮:夏号)編集会議	提出日	2016年 月 日
日時	2016年4月25日(月) 16:00~18:00	場所	南部どりはなれ神田店
出席者 (参加対象者) ◎進行者◇書記	◎小高(委員長)・◎石澤(副委員長)・青木・浅井・甘竹・市村・(植野)・ 大宮・(貝井)・上江・末松・高木・長崎・帆苺・松岡・山本・◇藤田 (敬省略)		
議題	I. 委員長より II. 4月号を振り返って III. 8月号(旧:7月号)編集会議 IV. その他		
資料	・議事進行予定・平成28年4月会報・4月号編集担当報告書・8月号会報台割概要		
議事内容			
<p><b>I. 委員長より</b> (小高委員長)</p> <p>&lt;新年度のあいさつ等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月号会報お疲れ様でした。</li> <li>・今回、新入委員の4名の方が加わり、広報委員会の広報作成にかかる仕組みの共有化を更に図っていききたい。特に、Dropboxを活用して作業の軽減を図りたい。</li> <li>・新入委員の紹介(4名)及び退会の報告 高木委員(勤務)・帆苺委員(開業)・松岡委員(勤務) 貝井委員(開業)は本日欠席 岩瀬委員は、支部異動のため、退会</li> </ul> <p><b>II. 4月号編集を振り返って</b> (長崎委員・山本委員) ※詳細は別紙参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回までは、事前にレイアウトを固めてから入稿を行う形で実施した。しかし、今回は、紙面が動きそうだということが最初から読めていたため、事前のレイアウト確定を行わず、入稿時に原稿と同時にレイアウトを確定した。</li> <li>・盈進社さんと共有用 Dropbox を作成し、入稿と出稿を別管理したことにより、スムーズに作業ができた。</li> <li>・今回は、文字数オーバー原稿が非常に多く、原稿の整理・調整が難しいことで、原稿入りのレイアウトを入稿したことにより、PDFデータを修正する手間が省けた、ポイント数を押さえて入れる等の調整ができた。この結果、入稿先担当者が作業のイメージがしやすく、戻りが早かった。</li> <li>・結果として、3校で責了となった。</li> <li>・写真データが重すぎて、データをメールで行えない、送信できるように解像度を低くするという調整を行う必要があった、という前回の課題については、盈進社(塚本さん)と受注フォルダ共有をすることによって解決した。</li> <li>・p7 国会議員訪問記が事情により掲載とならず、急きょ記事を作成、入稿が遅くなった。この場合も、原稿入りのレイアウト入稿により、下の記事分だけ先に送るなどで対応。結果的にスムーズにできた。</li> <li>・p4・6 余白については、フリーイラストから選んでイラストで埋めた。</li> <li>・サブリーダー。何をやるかもよくわからず、事前にやることを教わりながら、作業を進めた。勉強になった。リーダーは大変だと改めて思った。</li> <li>・3校で終わったのは初めて(石澤副委員長)</li> </ul>			



- ・レイアウトと一緒に入稿の形式は、皆が簡単にできる仕組みで、今後も活用できる（石澤副委員長）
- ・委員会紹介最終回。次回から「顧問からのエール」⇒顧問から執筆了解済み（小高委員長）

### Ⅲ. 広報誌4月号 編集および構成

#### 1. 次回以降の広報誌について（会報の表記変更について）（小高委員長）

- ・発行時期が一部変わること（正式に決まったら、小高委員長から報告の予定）
- ・これまで東京会と支部、別々に広報誌を送付していたが、コスト削減のため、東京会の会報に支部の広報誌を同封する形で対応することになった。
- ・支部広報誌は、従来、1月・4月・7月・10月号として送付してきた。
- ・今後の発送は、1月・4月・8月・11月号となるので、これまでの7月は8月に、10月は11月号になる。したがって、掲載内容が従来と異なってくる（記事ズレ）
- ・校了・責了など、スケジュールは変わらない。編集のサイクルは変わる。7月20日発送（旧）⇒7月20日までに東京会に提出（8月号として）東京会から8月に送付
- ・7月1日～10日までに校了・紙面として完成。掲載の記事内容は、発行時期を変えることにより従前の掲載内容と異なり記事ズレが生じる。
- ・青木委員から「新年号」「春」「夏」「秋」などの表記がよいのではないか？（号表記は従前どおり）の提案。次回、「夏号」で検討 まずは、正副支部長・委員長会議で承認を得ることに。

#### 2. 次回広報誌について 編集及び構成（石澤副委員長） ※詳細は後段に掲載

\*編集リーダー：末松委員 サブ・リーダー：上江委員

【1頁】表紙写真 委員長が選定（世界文化遺産等）

【2頁】「新年度を迎えて」役員4名の挨拶（小高委員長より依頼）

【3～4頁】平成28年度事業計画 総務委員長よりデータ入手（石澤副委員長より依頼）

【5頁】支部顧問から（毎回2名）新規・・・初回は、柏木先生・段下先生（小高委員長より依頼）

【6頁】研修会

・1/2 第10回研修会（すでに植野委員から入稿）

・1/2 開業部会研修（4月26日開催）各700字くらい（浅井委員）

【7頁】

・1/2 平成28年度第1回研修 岩崎先生（甘竹委員）

・1/2 年度更新・算定研修（高木委員・松岡委員）

【8頁】（毎回同様）

・政治連盟だより（石澤副委員長より依頼）

・新入会員を紹介します（名簿・支部長経由で入手）

・あとがき（末松委員・上江委員）

【その他】

・ページの構成 イメージ事前に仮レイアウト8月号としてDropboxにアップ

・今年度の編集担当及び記事担当等の説明（石澤副委員長）



- ・今回、各担当記事に字数入れてない。レイアウトの中で字数調整・はめ込みを行う
- ・依頼は今まで通り、字数制限して依頼する。(広報専用の原稿用紙を添えて依頼するが、入手原稿には字数オーバー・無視が多い。原稿の限度文字数は、原稿用紙に赤字で字数制限罫線を引いてそこからオーバーしないように依頼する。)
- ・今年度の研修担当の予定・変更する場合もあり
- ・今年度のリーダーは、これまでサブ・リーダーとしてやってきた方、サブリーダーは、これまでリーダーとして経験を積まれてきた方を選任。育てていくという目的
- ・写真 市村委員の裁量にお任せする。市村委員が研修・イベント等の撮影に、ご自身を含め大宮委員又は松岡委員の3人のうち誰が担当するか指示する方式とする
- ・書記：編集会議の議事録は、藤田委員・山本委員交互に担当。 HP 掲載用は委員長担当
- ・記事担当：左に記載されている委員がメインで執筆（別紙）  
 2本になるかもしれないときは、カッコ（サブ）の方で  
 新オリについては、参加のうえ、アンケート回収する
- ・ボウリング大会 委員長・副委員長 又は厚生委員会
- ・上記の他、開業部会の実務研修（実施時期現在のところ不明）
- ・浅井委員 明日、開業部会研修参加4月26日
- ・新入会員の方へは **Dropbox** ダウンロード等を後日メールで送信・ **Dropbox** に広報のマニュアルあるので、内容等各自確認していただく
- ・担当割りの確認⇒今のところ特に問題なし・変更があった場合は、委員長か副へ CC メールで連絡
- ・8月号（夏号）に関して 5月2日字数決定後、外部に依頼
- ・制作進行 7月20日東京会・広報担当 安藤氏に納品
- ・責了は 6月末までに行いたい（上江委員） 最終的なリミット；7月10日までに仕上げ、東京会広報担当安藤氏に20日までに納品する。
- ・原稿入手（5月末までに）⇒責了6月10頃までに。原稿入手及び作業は前倒しでどんどん進めていく。

**【平成28年度 編集&記事担当割】**

発行月	リーダー	サブリーダー	写真
8月号	末松	上江	市村氏 大宮氏 (松岡氏)
11月号	植野	浅井(青木)	
1月号	浅井	甘竹	
4月号	藤田	長崎	

※書記：藤田・山本



※記事担当

月	月日	テーマ	記事担当			写真
5月	5月18日	研修	甘竹	(山本)	(植野)	市村委員 が担当割 を決定
6月	6月16日	①年更 ②算定	高木 松岡	(松岡) (帆苺)		
7月	7月14日		植野	(高木)	(末松)	
8月						
9月	①9月7日 ②新オリ ③管外研修	研修	藤田 高木 末松	(青木) (帆苺) (大宮)	(山本)	
10月	10月12日	研修	山本	(長崎)	(浅井)	
11月	11月15日 ボウリング	研修	上江	(植野)	(青木)	
1月	1月25日 (新春賀詞交歓会)	研修	長崎	(貝井)	(帆苺)	
2月	①2月22日 ②新オリ	研修	山本 松岡	(甘竹)	(貝井)	
3月	3月14日	研修	帆苺	(青木)	(長崎)	

※上記の他

- ①開業部会の実務研修
- ②新規入会者オリエンテーション 等

研修が 2 本の場合又はメ  
イン担当者（左端）に不  
都合が生じた場合